

TOTO

オートクリーンC (オールインワンタイプ・発電タイプ)

TEF74型・TEF74A型
TEF84型・TEF84A型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

1-1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

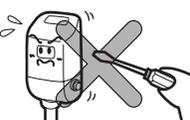
- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	ふろ、シャワーなどの「水場での使用禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

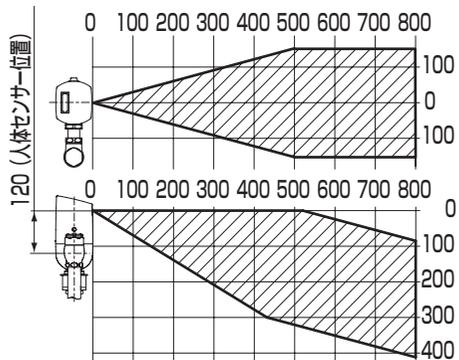
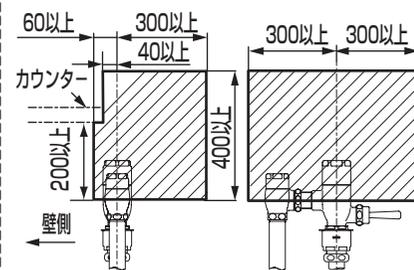
注意		
 禁止	水をかけないでください。 電気製品ですので、火災・事故の原因になります。	
	強い力や衝撃を与えないでください。 故障・水漏れの原因になります。	
	凍結のおそれのある場所には設置しないでください。 故障・事故の原因になります。	

注意		
 禁止	本体の通水路には抵抗となるような部材(オリフィスなど)をつけないでください。 洗浄性能への悪影響や水漏れのおそれがあります。	
 水場使用禁止	浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。 故障の原因になります。	
 分解禁止	この説明書に記載された項目以外は分解・改造はしないでください。 故障の原因になります。	
 必ず実行	取付接続部に腐食・ひび割れ・水漏れなどのないことを十分お確かめのうえ、お取り付けください。 故障・水漏れの原因になります。	

1. 取付条件の確認

- オートクリーンC（発電タイプ）は、既設取り替えタイプとリモデルタイプを品揃えております。リモデルタイプは便器の種類に応じた商品を選定してください。他社製便器には取り付けできませんのでご注意ください。下記A～Dへの場合は取り付けできませんので事前にご確認ください。

A. 下記感知領域内に障害物がある場合

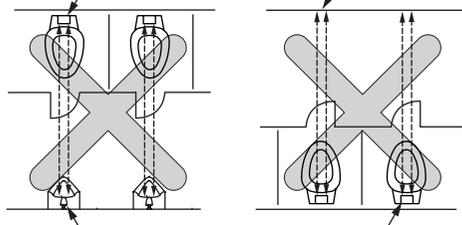
C. 既設フラッシュバルブ付近に手すりなどがある場合
(斜線は必要空間寸法)

※カウンターが飛び出したりしている場合はご注意ください。

B. 光電センサー正面の壁がステンレスなど反射しやすい場合や、光電センサー同士が対向する場合

大便器用光電センサー

ステンレス



小便器光電センサー

大便器用光電センサー

D. トイレアームレスト、簡易昇降便座
人体センサー取付位置の関係上、誤感知しますので、使用できません。

2. センサーについて

- 太陽光が入る場所では太陽光の影響で光電センサーが作動（感知）しない場合があります。
- 和風便器で前面の壁に紙巻き器が設置されている場合、トイレットペーパーを巻き取る時に手かざしセンサーが誤感知するおそれがありますので、可能であれば側面の壁に紙巻き器を移動することをおすすめします。
- 男性が立位で小用を足す大便器では、センサーの取付位置の関係より、使用者を感知することができません。
- 幼児用便座、前丸便座をご使用の場合、使用後、または清掃後は便座を下げてください。
- 施工の際にセンサー面を傷つけないよう十分ご注意ください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。

3. 洗浄について

- TEF74型・74A型は水道水、TEF84型・84A型は水道水・井戸水・再生水・雑用水に使用できます。ただし、井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。

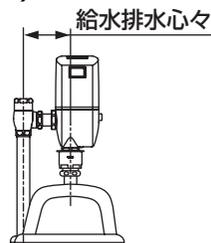
ホームページアドレス：<http://www.com-et.com/kiki/>

4.その他

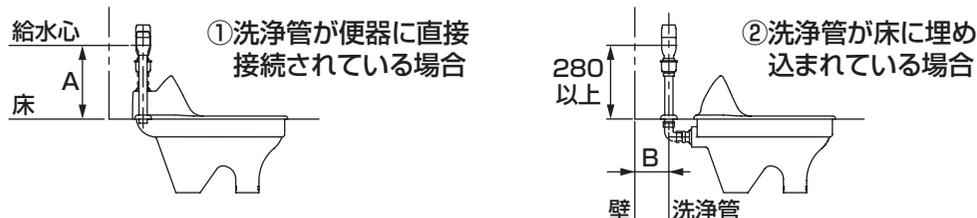
●給水排水心々

120mm以外は、下記品番の接続金具をご購入のうえ、施工の前にお取り替えください。(取替要領は「**① 接続金具の交換**」を参照してください)

	TOTO用		
給水排水心々(mm)	100	111	156
品番	TH342	TH342-1	TH342-2



●和風便器に設置する場合は下記条件にご注意ください。



床から給水心までの高さ(A)が320mm未満の場合は、別売の給水管(品番:402562)および洗淨管(品番:401206)への交換が必要です。

洗淨管が埋め込まれた状態で、洗淨管を約23mmカットする必要があります。壁から洗淨管まで(B)がパイプカットできるだけの空間を確保できるか事前にご確認ください。

●オートクリーンCの給水方向は左右どちらにも対応できます。

●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

仕様

タイプ	既設取り替えタイプ	リモデルタイプ
品番	TEF74型、TEF84型	TEF74A型、TEF84A型
取り付け可能なフラッシュバルブ(寒冷地タイプは除く)	TV150型 TV750型	—
洗淨水量調節範囲	大洗淨	8~16L調節可能
	小洗淨	6~10L調節可能
設定水量(工場出荷状態)	大洗淨: 13L 小洗淨: 10L	
給水圧力	最低必要水圧(流動時)	0.07MPa以上 ※SK33(汚物流し)に取り付ける場合は0.1MPa以上
	最高水圧	0.75MPa
製品寸法(mm)	110(幅)×240.5(高さ)×92(奥行)	
電源	発電機+バックアップ電池	
電池寿命	リモコンあり	ワイヤレスリモコンはセット不可
	リモコンなし	使用状況により流動的
感知距離	人体センサー	800~500mmで4段階調節可能(白紙□300の場合)
	手かざしセンサー	110mm(白紙□300の場合)
人体感知時間	6秒間以上	
自動洗淨開始時間	人体感知が切れて10秒後	
手かざし感知時間	0.5秒/2秒切り替え可能(工場出荷時は0.5秒設定)	
小洗淨判定時間	120秒または150秒に設定可能(工場出荷時は120秒にセット)	
機能	洗淨停止モード 自動洗淨(入/切 切り替え可能) 大小洗淨(大/大小 切り替え可能)	
設備保護洗淨	あり(24時間以下で自動設定)	
給水接続部	25A(ねじサイズ:R1)	
使用温度範囲	1~40℃	
使用水	水道水(TEF74型・74A型) 水道水・井戸水・再生水・雑用水(注)(TEF84型・84A型)	

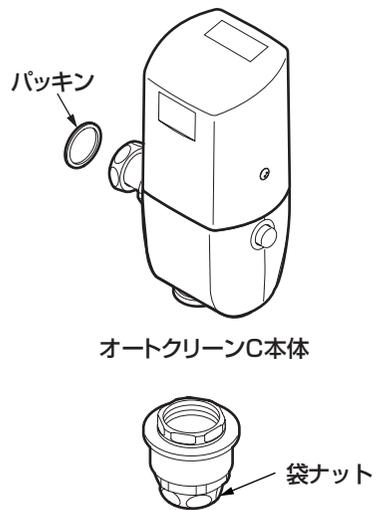
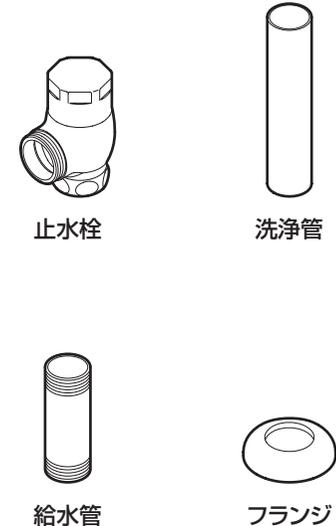
(注) 井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。

ホームページアドレス: <http://www.com-et.com/kiki/>

4

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

オートクリーンC本体部	給水・洗浄管部 (リモデルタイプの場合)
 <p>オートクリーンC本体</p> <p>パッキン</p> <p>袋ナット</p> <p>バキュームブレイカー</p> <p>※既設取り替えタイプには袋ナットは同梱されていません。</p>	 <p>止水栓</p> <p>洗浄管</p> <p>給水管</p> <p>フランジ</p>
その他	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="89 1101 324 1420"> <p>バキュームブレイカー用</p>  <p>施工注意札</p> <p>パッキン</p> <p>スリップワッシャー</p> <p>※既設取り替えタイプの場合のみ</p> </div> <div data-bbox="336 1101 560 1420"> <p>スパッド用</p>  <p>施工注意札</p> <p>パッキン</p> <p>スリップワッシャー</p> </div> </div>	 <p>洗浄停止用磁石</p> <p>使い方ラベル</p> <p>施工説明書</p> <p>取扱説明書</p>

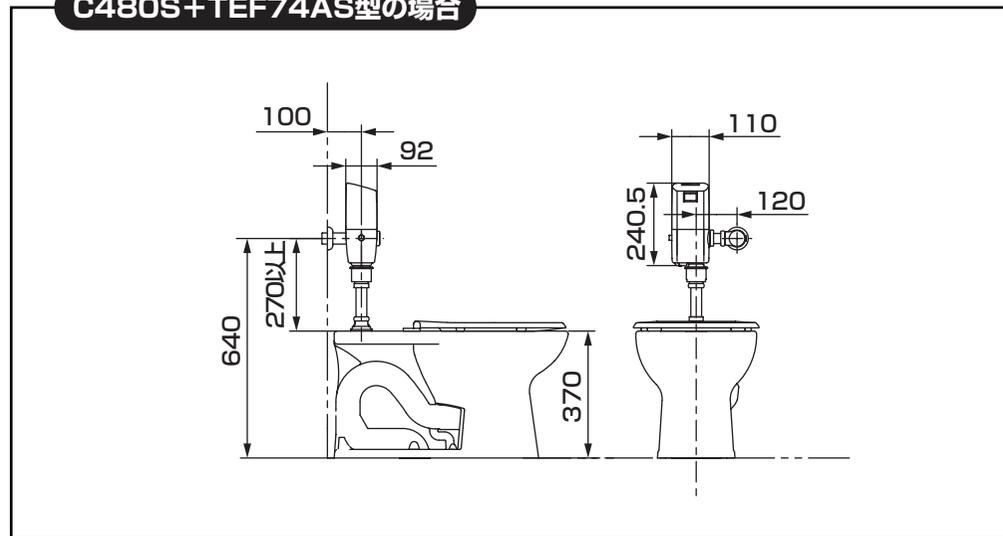
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5

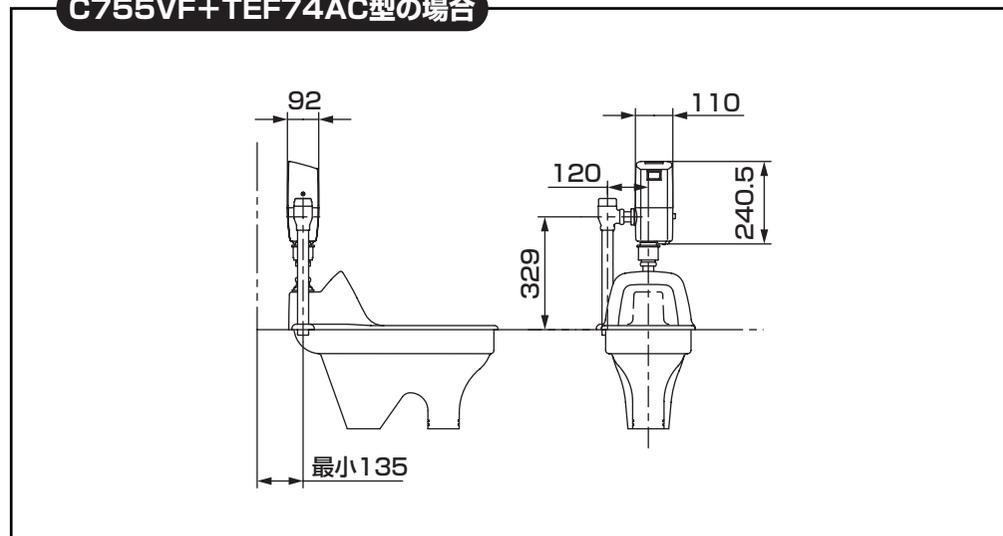
完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

C480S+TEF74AS型の場合



C755VF+TEF74AC型の場合



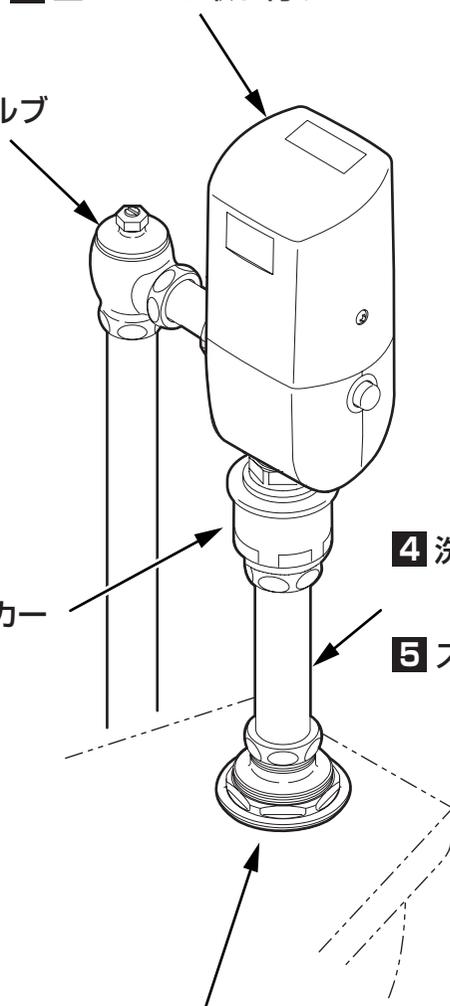
※バキュームブレイカー側面の「CL」ラインから便器のあふれ縁までは150mm以上を確保してください。

「CL」(Critical Installation Level)とは、バキュームブレイカーの空気吸入シート面の位置を示す線です。

- 7 オートクリーンC本体の取り付け（右給水の場合）
- 8 オートクリーンC本体の取り付け（左給水の場合）
- 9 洗浄水量調節について
- 11 コネクターの接続
- 12 上カバーの取り付け

- 2 止水栓を閉める
- 3 既設フラッシュバルブ本体の取り外し
- 10 水勢の調節

- 6 バキュームブレーカーの取り付け



- 1 便ふたの取り外し（腰掛便器の場合）

- 4 洗浄管の切断
（既設取り替えタイプの場合）
- 5 スパッドの取り付け
（既設取り替えタイプの場合）

1 便ふたの取り外し（腰掛便器の場合）

腰掛便器の場合、便ふたを外す。
（ドアスイッチタイプは除く）

〈普通便座の場合〉

色番	色彩	対応スペーサー
なし	ホワイト	D59025
#N11	ペールホワイト	
#SC1	パステルアイボリー	
#SR2	パステルピンク	
#SM2	パステルブルー	
上記色番以外		D59025 t1

※その他の便器（暖房便座、ウォシュレット便座）については、当社各支社、営業所にお問い合わせください。

〈他社便座の場合〉

便ふたなしの便座にお取り替えください。

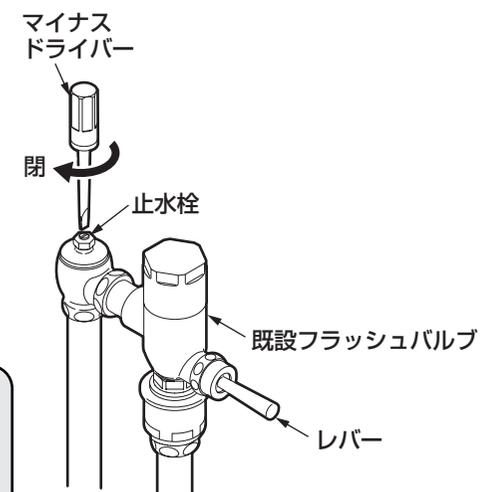


2 止水栓を閉める

- ① 既設フラッシュバルブの止水栓をマイナスドライバーで図の方向に回して閉める。
- ② レバーを数回押して水が止まったことを確認する。

注意

和風便器のフラッシュバルブを取り替える場合は、給水元栓を閉めてください。



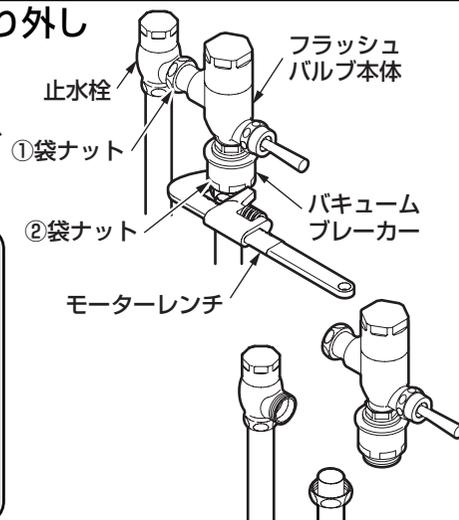
3 既設フラッシュバルブ本体の取り外し

① 止水栓側面の袋ナットをゆるめる。

② バキュームブレーカー側の袋ナットをゆるめ、バキュームブレーカーごとフラッシュバルブ本体を取り外す。

注意

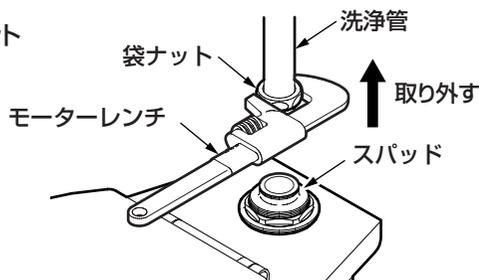
- 共回りを防ぐため、バキュームブレーカーの袋ナットを外すときは、バキュームブレーカーをモーターレンチなどで押さえて取り外してください。
- 取り外し時に残水が出ますので、タオルなどで拭き取ってください。



4 洗浄管の切断 (既設取り替えタイプ場合)

腰掛便器にフラッシュバルブが直接接続されている場合

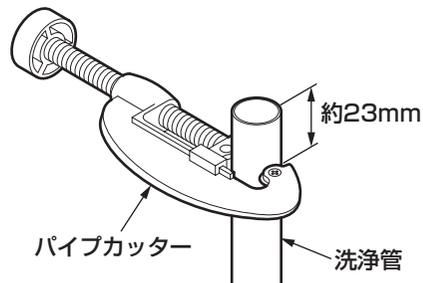
① スパッドの袋ナットをゆるめ、洗浄管と袋ナットを取り外す。



② 洗浄管をパイプカッターで約23mm切断する。

注意

切断面のバリを取ってください。



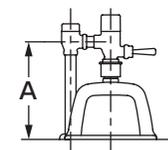
和風便器にフラッシュバルブが直接接続され、かつ、床から給水心までの高さ(A)が320mm未満の場合

① 給水管と止水栓を床から取り外す。

② 別売の給水管(品番:402562)に①で外した止水栓を取り付け、床下の給水配管に接続する。

注意

A寸法が320mm以上の場合は、給水管の交換は不要です。パイプカッターで洗浄管を約23mm切断してください。



③ オートクリーンC本体に同梱のバキュームブレーカーを取り付け、止水栓の袋ナットに仮固定する。

④ バキュームブレーカー下端からスパッド上端までの寸法をメジャーで測定し、オートクリーンC本体とバキュームブレーカーを一度取り外す。

⑤ 別売の洗浄管(品番:401206)をパイプカッターで必要な長さに切る。

必要な長さ＝

④で測定した寸法+30mm(差し込み代)

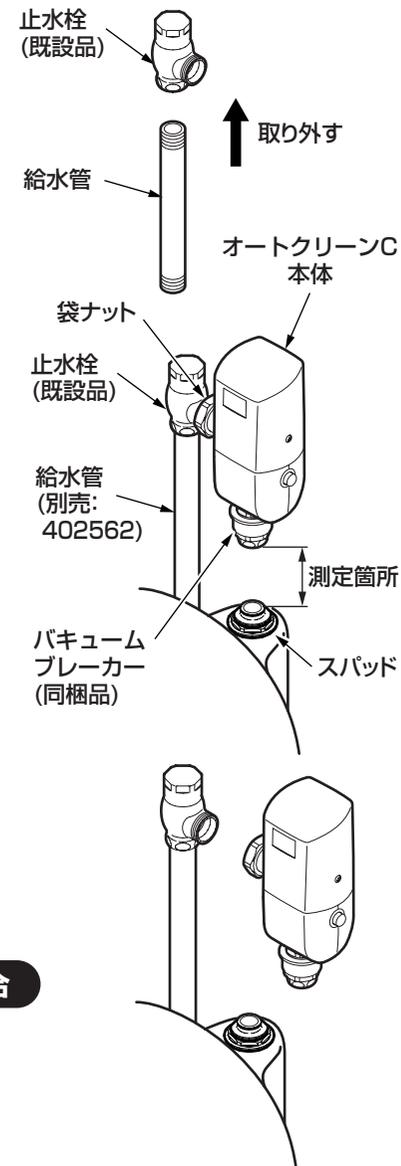
注意

切断面のバリを取ってください。

和風便器で、洗浄管が床に埋め込まれている場合

洗浄管が床に埋め込まれた状態でパイプカッターで約23mm切断する。

※パイプカッターが給水管に当たる場合は、一度給水管を外してパイプを切断してください。

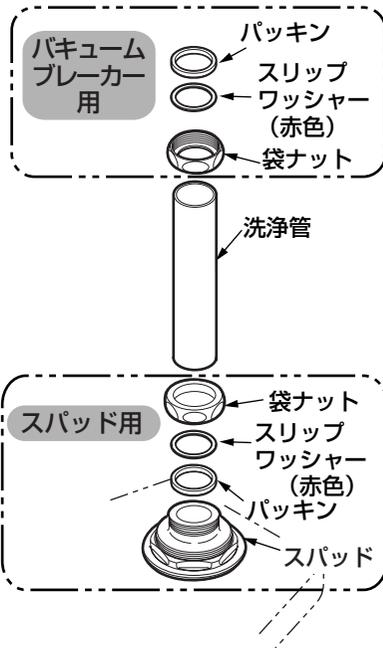


5 スパッドの取り付け (既設取り替えタイプ場合)

- ①スパッドの袋ナットのパッキンとスリップワッシャーを同梱の新しい部品に交換し、スパッドに洗浄管を組み付ける。

注意

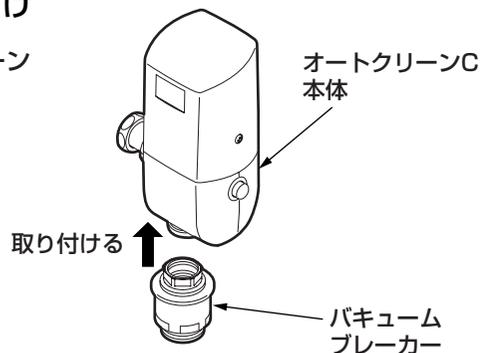
- 施工注意書に注意してパッキンとスリップワッシャーを取り替えてください。
- 袋ナットは既設の部品を流用してください。



- ②バキュームブレイカーの袋ナットのパッキンとスリップワッシャーを同梱の新しい部品に交換する。

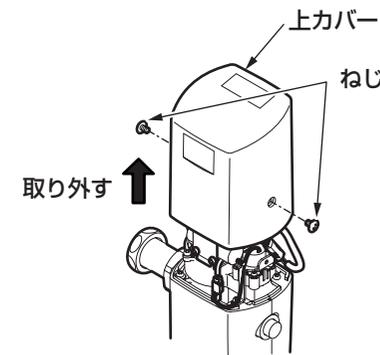
6 バキュームブレイカーの取り付け

同梱のバキュームブレイカーをオートクリーンC本体に取り付ける。

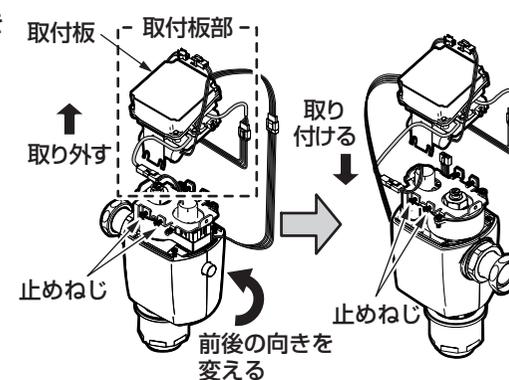


7 オートクリーンC本体の取り付け (右給水の場合)

- ①上カバーを固定しているねじを2本外し、上カバーを取り外す。

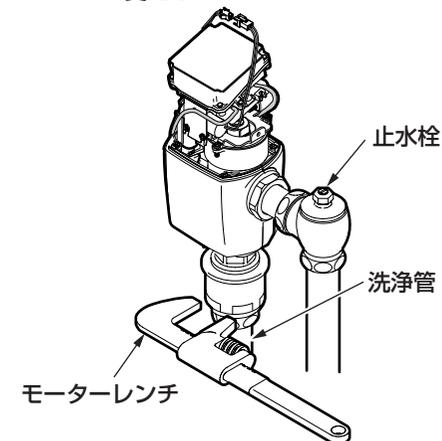


- ②取付板の止めねじをゆるめ、取付板部を外す。



- ③②で外したものの前後の向きを変えて、裏側のねじで固定する。

- ④オートクリーンC本体を止水栓、洗浄管に固定する。



注意

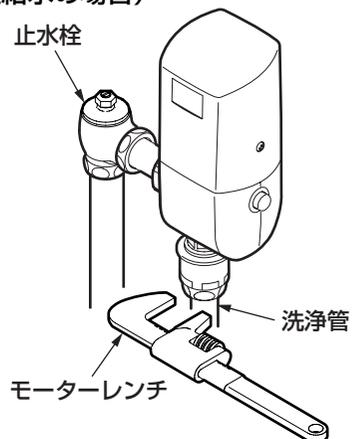
オートクリーンC本体を止水栓、洗浄管に固定する際は、モーターレンチなどでコードを引っかけないように十分注意してください。

8 オートクリーンC本体の取り付け (左給水の場合)

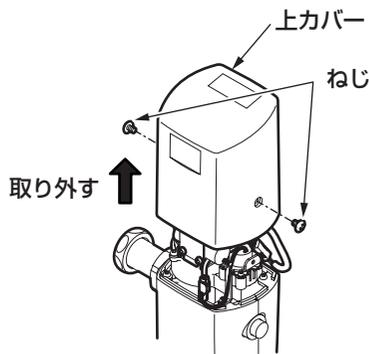
①オートクリーンC本体を止水栓、洗浄管に固定する。

注意

オートクリーンC本体を止水栓、洗浄管に固定する際は、モーターレンチなどでコードを引っかけないように十分注意してください。



②上カバーを固定しているねじを2本外し、上カバーを取り外す。



9-1 洗浄水量調節について

取り付ける便器に応じて洗浄水量を調節することにより、高い節水効果が得られます。
【便器のタイプと設定方法】に従い、必ず「大洗浄」と「小洗浄」の両方の洗浄水量を調節してください。洗浄水量調節は目安です。確実に洗浄できるか必ず確認し、適正な洗浄水量に調節してください。

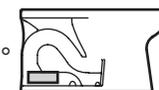
注意

マイザレット、汚物流し (SK33、SK35、SK434) および下表に記載の便器以外に取り付ける場合は、必ず「大」に設定してください。切替方法は「8 切替スイッチの調節」を参照してください。

【品番の確認方法】

右図を参考にして、便器の品番を確認する。

.....品番確認位置



腰掛便器



和風便器



汚物流し

【便器のタイプと設定方法】

	腰掛便器	和風便器	汚物流し
便器の品番 (TOTO品番)	C111・C21R CS210C (注1) C40・C454PV C40C・C48AS C48・CU714V	C14・C425 C426・C480A C480S・CS480C (注1) C550RU・C743PVS	C750他
大洗浄 (洗浄水量調節スイッチ)	13L 	11L 	11L
小洗浄 (バルブの調節ねじ)	10L 	7L 	6L
	工場出荷状態	(注2)	(注3)

注1: 大小洗浄機能を「大小」から「大」へ切り替えてください。

(「8 切替スイッチの調節」を参照してください。)

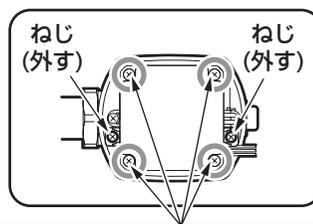
注2: 工場出荷時から一回転閉じてください。

注3: 調節ねじを水量ラベルの矢印と反対の方向に回して、7の位置に合せてください。

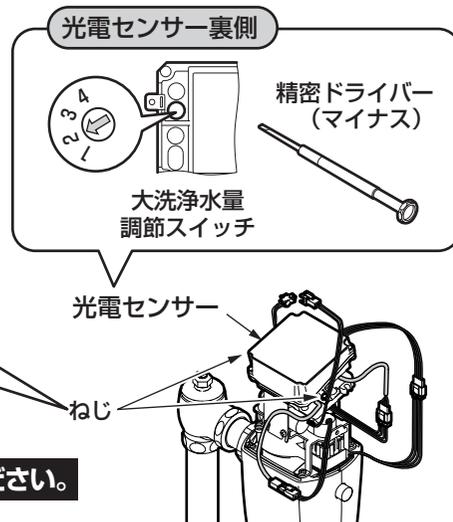
9.2

【大洗浄水量の設定方法】

- ① 光电センサーのねじ(2カ所)を外す。
- ② 光电センサー裏側のゴムキャップを外し、精密ドライバー(マイナス)などでスイッチを調節する。

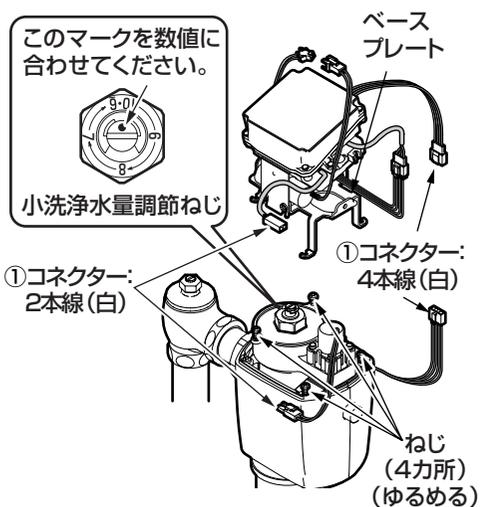


このねじは絶対に外さないでください。



【小洗浄水量の設定方法】

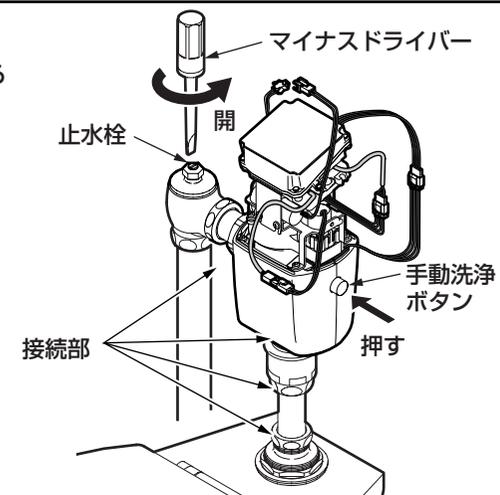
- ① コネクター(2カ所)を外す。
・発電機 4本線(白)
・駆動部 2本線(白)
- ② ベースプレートのねじ(4カ所)をゆるめ、ベースプレートを外す。
- ③ 調節ねじ部の水量ラベルを参考にしながら、マイナスドライバーで調節する。
※小洗浄調節中に、現在の設定水量位置を見失ったときは、1度調節ねじを全閉(水量ラベルの矢印方向に止まるまで回す)し、そこから一回転開けると約7Lに設定できます。
- ④ 水量を調節したあとは、ベースプレートをねじ(4カ所)で固定し、コネクター(2カ所)を接続する。



10 水勢の調節

止水栓を開け、手動洗浄ボタンを押しながら水勢を調節する。

※この時、水はねがないことと、接続部やオートクリーンC本体に水漏れなどの異常がないことをご確認ください。



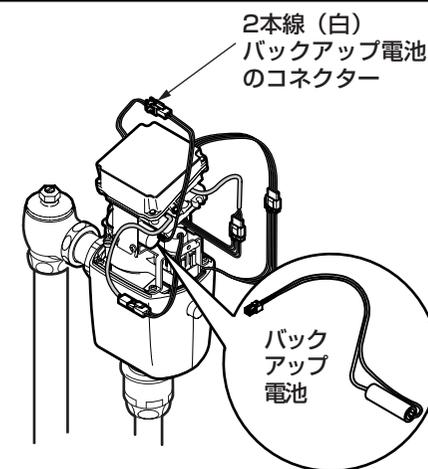
11 コネクターの接続

バックアップ電池のコネクターを接続する。

※コネクター接続後、センサーが感知可能になるまでに約2分かかります。

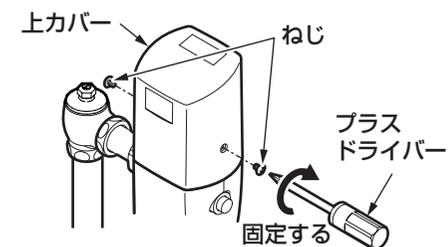
注意

コネクター接続後10分間は、感知するたびに人体センサー窓ガラス内の感知表示ランプが点滅しますが、その後は、感知しても点滅しません。



12 上カバーの取り付け

コードをかみ込まないように、十分注意しながら上カバーをセットし、ねじで固定する。

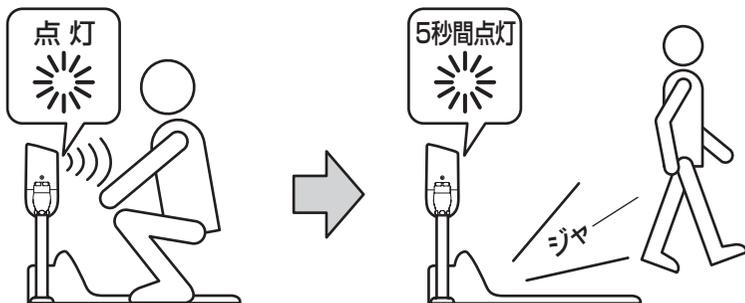


- 本商品はバックアップ電池のコネクターを接続後、作動するまで2分間必要です。
- 試運転は、必ず上カバーをかぶせて行ってください。

人体センサーの前に立ち、使用者を感知すると感知表示ランプが点滅します。6秒以上点滅させた後立ち去ると感知表示ランプが消灯し、約10秒後洗浄水が流れることをご確認ください。ただし人体センサーの感知表示ランプの点滅はバックアップ電池のコネクター接続後、約10分間ですのでご注意ください。感知表示ランプを再度点滅させるには、バックアップ電池についている白色のコネクターを抜き差ししてください。

また、洗浄開始から約5秒間、手かざしセンサーの感知表示ランプが点灯することをご確認ください。

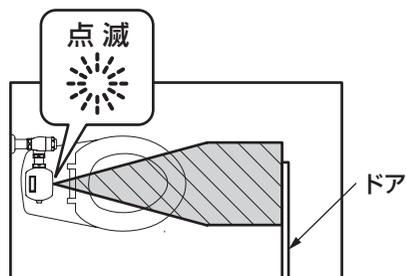
万一、洗浄時に手かざしセンサーの感知表示ランプが点灯しない場合は、何らかの原因で発電機が故障していますので、東陶メンテナンス(株) (☎0120-1010-05)へ修理をご依頼ください。



立ち去っても
感知表示ランプが
消灯しない場合

使用者が立ち去ったあと、人体センサーの感知表示ランプが消灯しない場合は、トイレブースの壁を感知していますので、感知距離の再設定が必要となります。

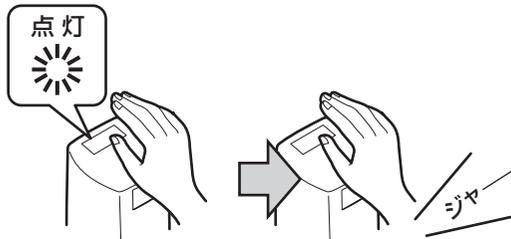
設定方法は「8 切替スイッチの調整」を参照してください。ドアを開けたままで人体センサーの感知表示ランプが点滅する場合にも、右記感知距離の再設定を行ってください。



手かざしセンサーから5cm以内に約1秒手を近づけると、洗浄水が流れることをご確認ください。

ただし、1度洗浄しますと、ムダな洗浄を防ぐため、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。

電源投入後、10分以内は手をかざすと感知表示ランプが点灯します。



洗浄水量の少ない小洗浄で洗浄性能の確認を行ってください。

小洗浄性能のめやすとしては、76cmに切断したトイレットペーパー（JIS品）を丸めたもの7個が1度に流れることを確認してください。

下表を参考にし、センサーから5cm以内に約1秒手をかざして、小洗浄を行ってください。トイレットペーパーが流れない場合は、止水栓の開閉ねじで水勢の調節を行ってください。

それでも流れない場合は、小洗浄水量を調節してください。

調節方法は「6-9 洗浄水量調節について」を参照してください。

大小洗浄機能	人体センサーの感知時間	洗浄水量
大小	6秒以上～小洗浄判定時間 (120秒または150秒)	小洗浄水量
	小洗浄判定時間以上	大洗浄水量
大	—	大洗浄水量

使用者に操作方法がわかるように、お取り付けのシステムに合ったラベルを選び、オートクリーンC本体に近い壁面に貼り付けてください。

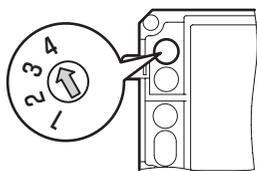
8

切替スイッチの調節

以下の設定を行うには光電センサーを取り外していただく必要があります。
光電センサーの取外要領は、「**6-4** - **9** 洗浄水量調節について」を参照してください。（図は光電センサー裏側です。）

スイッチの設定を変更したあとは、必ず上カバーをかぶせて確認作業を行ってください。

感知距離の設定（人体センサー）



スイッチ	1	2	3	4
感知距離 (単位:mm)	500	600	700	800

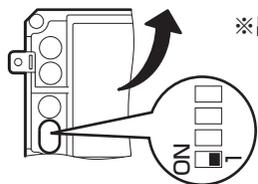
※出荷時は「スイッチ4:800mm」に調節してあります。

光電センサー裏側の感知距離調節スイッチのゴムキャップを外し調節してください。

- ①人体センサーの感知表示ランプが点灯したままの場合
…感知距離調節スイッチを「4」から「3」へ回す。
- ②スイッチ切り替え後も人体センサーの感知表示ランプが点灯したままの場合
…感知距離調節スイッチを1つずつ下げて調節してください。

手かざし時間切替方法

スイッチ	150秒 / 120秒
SW 4 : 小洗浄判定時間	150秒 / 120秒
SW 3 : 大小洗浄	大 / 大小
SW 2 : 自動洗浄	切 / 入
SW 1 : 手かざし時間	2秒 / 0.5秒



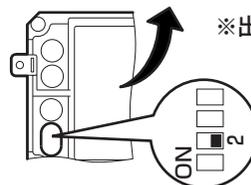
※出荷時は0.5秒に設定

スイッチ1(SW1)を切り替える。

工場出荷時は0.5秒に設定していますが、手かざしセンサーによる不要な洗浄が発生する場合は、2秒に切り替えてください。

自動洗浄切替方法

スイッチ	切 / 入
SW 4 : 小洗浄判定時間	150秒 / 120秒
SW 3 : 大小洗浄	大 / 大小
SW 2 : 自動洗浄	切 / 入
SW 1 : 手かざし時間	2秒 / 0.5秒



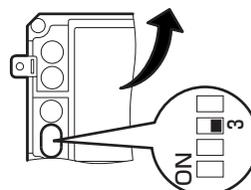
※出荷時は自動洗浄「入」

スイッチ2(SW2)を切り替える。

流し忘れ防止のため、使用者が立ち去ったあとに自動で洗浄するよう工場出荷時に設定しています。
自動洗浄をオフにする場合は、スイッチ2(SW2)を「切」に設定してください。

大小洗浄切替方法

スイッチ	大 / 大小
SW 4 : 小洗浄判定時間	150秒 / 120秒
SW 3 : 大小洗浄	大 / 大小
SW 2 : 自動洗浄	切 / 入
SW 1 : 手かざし時間	2秒 / 0.5秒



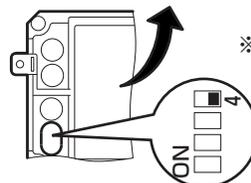
スイッチ3(SW3)を切り替える。

スイッチ3(SW3)を切り替えることで大洗浄のみの場合と、大小洗浄の判定を行う場合とを選択できます。
工場出荷時は大小洗浄の判定を行うように設定しています。

※マイザレット、汚物流し(SK33、SK35、SK434)および「**6-4** - **9** 洗浄水量調節について」に記載の便器以外に取り付ける場合は、必ず「大」に設定してください。

小洗浄判定時間の切替方法

スイッチ	150秒 / 120秒
SW 4 : 小洗浄判定時間	150秒 / 120秒
SW 3 : 大小洗浄	大 / 大小
SW 2 : 自動洗浄	切 / 入
SW 1 : 手かざし時間	2秒 / 0.5秒

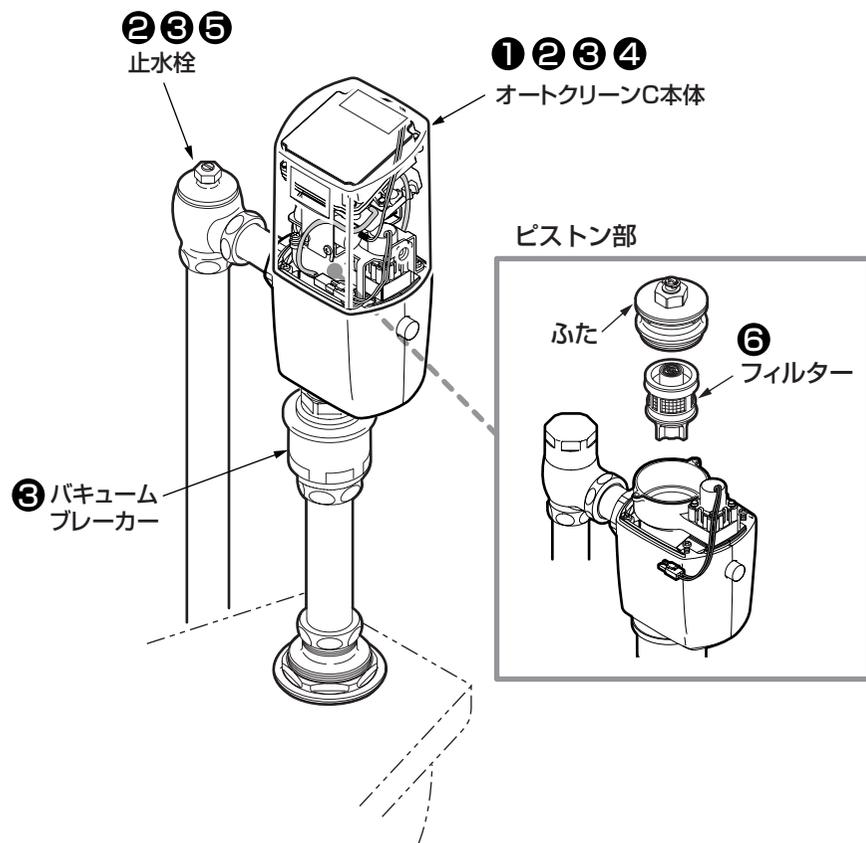


※出荷時は120秒に設定

スイッチ4(SW4)を切り替える。

人体センサーの感知時間により大/小便を判定して適正水量を流します。
工場出荷時は、120秒に設定していますが、スイッチ4(SW4)を切り替えることで、150秒に設定することもできます。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



配線の確認

コネクターが接続されているか確認してください。

① コネクターは確実に接続していますか？

↳ 6-5 - 9 「コネクターの接続」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

② オートクリーンC本体、止水栓はしっかり取り付けられていますか？

↳ 6-3 - 7 「オートクリーンC本体の取り付け(右給水の場合)」参照
 ↳ 6-4 - 8 「オートクリーンC本体の取り付け(左給水の場合)」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

③ 接続部はしっかり締め付けていますか？

↳ 6-3 - 6 「バキュームブレーカーの取り付け」参照
 ↳ 6-3 - 7 「オートクリーンC本体の取り付け(右給水の場合)」参照
 ↳ 6-4 - 8 「オートクリーンC本体の取り付け(左給水の場合)」参照

洗浄水量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定どおりの洗浄水量が出ない場合は、次の項目を確認してください。

④ 小洗浄水量・大洗浄水量は正しく設定されていますか？

↳ 6-4 - 9 「洗浄水量の調節について」参照

⑤ 止水栓は開いていますか？

↳ 6-5 - 10 「水勢の調節」参照

⑥ フィルターのごみ詰まりはないですか？

↳ フィルターの掃除をする。
 掃除方法は取扱説明書を参照してください。



10 発電機の確認

取り付けが完了したあと、またはメンテ時(年2回)に発電機の作動チェックを行ってください。

●取り付け後の確認(初期)

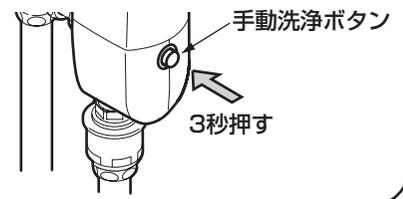
電源投入後10分以内に手かざし洗浄、または自動洗浄を行う。



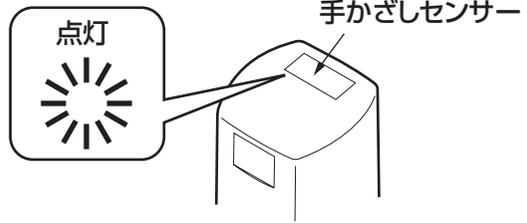
●メンテ時(年2回)の確認(洗浄停止モード)

洗浄停止モードに入り、手動洗浄ボタンで洗浄する。

※洗浄停止モードについては、取扱説明書を参照してください。



発電機の羽根車が回転していれば、洗浄開始から手かざしセンサーのランプが約5秒間点灯

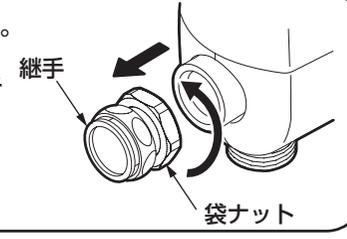


ランプが点灯しなければ羽根車が停止している。

東陶メンテナンス(株) (☎0120-1010-05)に修理を依頼してください。

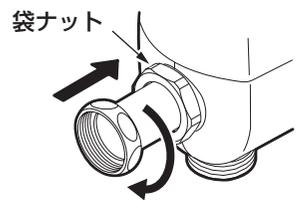
11 接続金具の交換

- ①モーターレンチでオートクリーンCの袋ナットを外す。
- ②継手に布切れなどを当て、矢印の方向にパイプレンチなどの工具で回しながら外す。



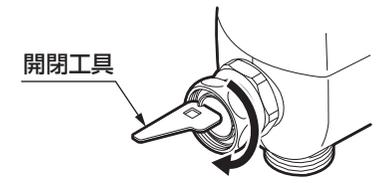
TH342-2の場合

- ③ご購入いただいた接続金具の継手を手で矢印の方向に止まるまで回す。
- ④袋ナットをモーターレンチでオートクリーンC本体に締め付ける。

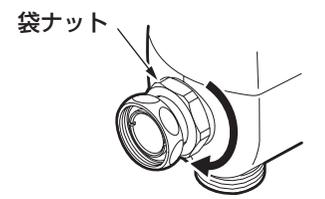


TH342、TH342-1の場合

- ③同梱の開閉工具で継手を矢印の方向に止まるまで回す。



- ④袋ナットをモーターレンチでオートクリーンC本体に締め付ける。



- ⑤同梱の開閉工具で、再び継手を矢印の方向に止まるまで回す。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。